

CA-D01

CA-D01D

取扱説明書 ドライブレコーダー編

この度は、弊社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

本機は、日常の運転をドライブレコーダーで記録し分析することで、安全運転についての改善や、効果的な運転管理を推進し、交通事故の防止および安全運転を促進する目的で製造販売しております。

microSDカードについての取り扱い注意事項

microSDカードの挿入／取り出しの際は、本体からDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してからおこなってください。

microSDカードは消耗品です。一定使用期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、オプションのmicroSDカードと交換してください。

microSDカードを新たに購入される場合は、オプションのドライブレコーダー専用microSDカード(GDO-SD8G1/GDO-SD16G1/GDO-SD32G1/GDO-SD64G1)をおすすめします。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更(削除、追加、移動)しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

Copyright © 2023 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstarは、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logolは登録商標です。



STARVISおよび **STARVIS** はソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェアの登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

もくじ

はじめに

安全上の注意	4
microSDカードについての取り扱い注意事項	6
使用上の注意	7
録画についての注意事項	7
取り付けについての注意事項	7
microSDメンテナンスフリー機能について	7
パーキングモードについて	7
ナイトクリア Ver.2 (本体カメラ・別体カメラ) について	8
コードについて	8
アイドリングストップ車での使用について	8
安全運転支援機能 (本体カメラ・別体カメラ*) について	8
専用ビューアソフトについて	8
カメラレンズの注意事項	8
事故発生時の注意事項	8
梱包内容の確認	9
ドライブレコーダーで使用する梱包内容	9
オプション品	10
各部の名称と機能	11
本体	11
別体カメラ	12

取り付けと準備

取り付け方法	13
本体と別体カメラの設置場所 (推奨)	13
本体をフロントガラスに取り付ける場合	14
フロントガラスへの取り付け位置 (正面)	14
フロントガラスへの取り付け位置 (側面)	14
フロントガラスへの取り付け	15
本体用マウントベースから本体を取りはずす	15
本体をダッシュボードに取り付ける場合	15
別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合	16
取り付け位置 (正面)	16
取り付け位置 (側面)	17
リヤガラスへの取り付け	17
本体と別体カメラを接続	18
接続方法	18
別体カメラの設定	18
セーフティレーダーとの接続	19
microSDカードの挿入および取り出し	20
microSDカードの挿入	20
microSDカードの取り出し	21

基本操作

製品の使用方法	22
電源のON/OFF	22
エラー表示	22
音量調整 (工場出荷時: 2)	23
録画方法	24
録画モードについて	24
常時録画モードとイベント録画モード	24
クイック録画機能 (手動)	25
パーキングモードの録画仕様について	26
パーキングモードの動作	26

相互通信使用編

本機をセーフティレーダーと相互通信で使用	27
相互通信機能について	28
準備するもの	28
リモコンの操作	28
セーフティレーダーの外部入力設定	29
設定の変更方法	30

再生モード	31
相互通信時のパーキングモードについて	32
相互通信時の常時電源接続方法	32
安全運転支援機能（本体カメラ）	33
前車発車警告	33
車間距離保持警告	33
車線逸脱警告	33
安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧	33
キャリブレーション（本体カメラ）	34
車種を設定する	34
地平線を調整する	34
ボンネットを調整する	34
安全運転支援機能（別体カメラ）	35
後車接近警告	35
安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧	35
キャリブレーション（別体カメラ）	36
地平線（別体カメラ）を調整する	36
フォーマット	37

各種設定

設定一覧	38
設定一覧	38
画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧	40
3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧	40

その他の機能	41
システムリセット	41
強制初期化（強制フォーマット）	41
本機を相互通信使用時	41
本機を単体で使用時	41
ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて	42
専用ビューアソフトの動作環境	42
専用ビューアソフトのインストール方法	42

ドライブレコーダー単体使用編

本機を単体で使用	43
モード切りかえ	44
撮影モードについて	44
共通：設定モードにする	44
画像モード設定（工場出荷時：高画質）	45
カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）	46
別体カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）	46
別体カメラ表示（工場出荷時：オン）	47

録画モード（工場出荷時：常時＋イベント）	47
3Gセンサー感度（工場出荷時：標準）	48
音声録音（工場出荷時：オン）	48
インボース記録（工場出荷時：オン）	49
ボイス（工場出荷時：オン）	49
LED表示（工場出荷時：オン）	50
パーキングモード（工場出荷時：オン 常時＋イベント）	50
パーキングモード感度（工場出荷時：標準）	51
日時（工場出荷時：未設定）	51
フォーマット	52
本体カメラ正像/鏡像切り替え（工場出荷時：正像）	52
パーキングモードについて	53
本機単体使用時の常時電源接続方法	53
外部モニター表示	54

困ったときは

故障かな？と思ったら	55
------------	----

その他

製品の仕様	56
microSDカードのデータについて	59

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明していきます。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。



警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。
* 物的損害とは、車両・家屋・家財などに関わる拡大損害を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。



この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。



この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、近くに文章で示します。



危険



本機は必ず定められた電圧（DC12V/24V）でご使用ください。

- * 火災や感電、故障の原因となります。
- * 相互通信接続時DC12Vのみ。



運転中に本機を操作しないでください。

- * 交通事故の原因となります。操作する場合は、必ず車を安全な場所に停止させ操作してください。



本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

- * 事故発生時にエアバッグが正常に作動しないおそれがあります。または作動したエアバッグにより負傷の原因となります。



医療用電気機器の近くでは使用しないでください。

- * ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。



水につけたり、水をかけたり、またぬれた手では絶対に操作しないでください。

- * 火災や感電、故障の原因となります。



警告



本機の取り付けは、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態でおこなってください。

- * 感電および故障の原因となります。



本機の結合部分、スピーカーなどの穴やすき間にはピンや針などの金属を入れないでください。

- * 誤って差し込まれた場合は、すぐ使用を中止し取り除いてください。火災、感電、および故障の原因となります。



本機から煙が立つ、異臭がするなどの問題が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。

- * 火災などの原因となります。



本機を急激に温度が上昇する場所に長期間放置しないでください。

- * 製品の変形および火災、爆発の原因となります。



コードをはずすときは、必ずプラグ部分を持ってはずしてください。また破損やキズが付いたコードは使わないでください。

- * コードが損傷したまま使用すると、感電および火災の原因となります。



本機の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。またゴムとビニールなどを長期間接触させないでください。

- * 表面の変質や塗料がはがれることがあり、故障および火災の原因となります。



本機を長時間動作した場合、レンズ部分が発熱します。直接手で触れないでください。

警告

- !** 本体カメラは、ガラス面またはダッシュボード表面に正しく取り付けてください。
- * ガラス面またはダッシュボード表面をきれいに拭いたあと、本体および別体カメラを正しく確実に取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、本体および別体カメラがガラス面またはダッシュボード表面からはずれ運転中に交通事故が発生する可能性があります。

注意

- !** 本機に強い衝撃を与えないでください。
 - * 衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
- !** 本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。
 - * 製品の誤作動および故障の原因となります。
- !** 本機の近くには障害になるようなものを設置しないでください。
 - * 周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- ⊘** 本機の分解、修理、または改造を絶対にしないでください。
 - * 故障の原因となり保証を受けることができません。
- ⊘** 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ⊘** 気温の低いところから高いところへ本機を移した場合、本機内に結露が生じることがあります。
 - * 結露したまま使用すると故障や発熱の原因となります。使用しないでください。
- !** GPS 機能は初期作動時、起動するまでに時間がかかります。(セーフティリーダーとの相互通信が必要)
 - * 受信環境、気象状況、および車両の位置などにより、数秒から数分かかる場合があります。
- !** フロントガラスにメタルコーティングされた車両は GPS 受信障害が発生することがあります。(セーフティリーダーとの相互通信が必要)
- !** トンネル入出時のように急激に明るさかわる場合、逆光が強い場合、夜に光源がない場合などの条件では録画品質が落ちることがあります。
- !** 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドランプやフォグランプをつけてください。
- !** ガラスの表面や本機のカメラレンズの表面はいつもきれいにしておいてください。
 - * ほこりや異物による乱反射や屈折現象の発生で、きれいな映像を記録することができない可能性があります。
- !** 本機は、推奨取付位置に設置してください。
 - * 推奨位置でない場所に設置されると画面がよれることがあります。
 - * 車両に応じて、よい録画ができる位置(推奨取付位置)に装着してください。
- !** LED 方式の信号機などでは画面がちらつく(フリッカー)ことがあります。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

microSDカードについての取り扱い注意事項

-  microSD カードの取り扱いには十分注意して、次の注意事項をよくお読みになりご使用ください。注意事項を守らずに発生するデータの損失および破損に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
-  録画画質設定の変更や microSD カードの状態によっては、フォーマットが必要になります。
-  付属の microSD カードをフォーマットすると記録ファイルは、すべて消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
-  microSD カードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
-  市販の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
-  microSD カードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
-  microSD カードは消耗品です。一定使用期間（約1年）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができない可能性があります。microSD カードによる不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを取り出す際は、必ず本機の電源が OFF になっていることを確認してから取りはずしてください。
 - * 本体の電源が入っている状態で microSD カードを取り出すと、データ損失などの原因となります。
-  一般的に microSD カードには、寿命があります。（各メーカーにより異なります）
 - * microSD カードを長期間使用しているなどの原因でデータに異常が発生した場合、新しい指定の microSD カードと交換してください。
-  microSD カードを保管、または持ち歩くときは、必ずケースに入れてください。
 - * ケースに入れずに保管または持ち歩くと、静電気および外部環境の原因により内部のデータが損失されることがあります。
-  パソコンなどで microSD カード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
-  microSD カードに本製品で記録されたデータ以外を格納しないでください。
 - * 正しく動作しない場合があります。
-  指定の microSD カード以外は使用しないでください。
 - * 指定以外の microSD カードを使用すると、正常に動作しない場合があります。
-  microSD カードスロットに異物を入れないでください。
 - * カードスロットの破損、または誤動作、故障の原因となります。
-  油がついた手やぬれた手で microSD カードスロットを触らないでください。
 - * microSD カードの損傷、または故障などの原因となります。
-  データのバックアップ、フォーマットおよび動作中には、絶対に microSD カードを取り出さないでください。
 - * microSD カードを損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
-  microSD カードの分解、または改造などは、絶対にしないでください。
 - * microSD カードが破損するおそれがあります。
-  microSD カードを落下させたり、衝撃を与えないでください。
 - * microSD カードの破損、およびデータが損失されるおそれがあります。
-  microSD カードには向きがあります。挿入するときは向きを確認して、確実に最後まで差し込んでください。
 - * microSD カードが正しく挿入されていないと誤動作の原因となります。
-  microSD カードを別に購入する場合は、必ず使用可能が確認しうえてご購入ください。
microSD カード 8GB ~ 32GB（クラス 10/SDHC 規格準拠）、64GB（クラス 10/SDXC 規格準拠）
その他、スピードクラスとして下記以上を推奨
SD スピード Class : Class 10
 - * 弊社オプション microSD カード推奨

使用上の注意

録画についての注意事項

- ・本機は自動車などの事故における証拠としての効力、ナンバープレート・車種・色などの特定を保証するものではありません。
- ・本機はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・本機の故障や使用による損害、また録画した映像の破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・本機の動作を確認するため、急ブレーキなど危険な運転はおやめください。
- ・本機で録画した被写体は、プライバシーの侵害となる場合があります。取り扱いにご注意ください。
- ・LED方式の信号機では記録映像が点滅やチラつくことがあり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・走行中に本機を操作したり、LEDランプを注視しないでください。クイック録画／撮影機能をおこなう場合、車を停止し、周囲の安全を確認したうえで操作してください。
- ・夜間の録画した映像にノイズが入っているように見えたり、夜間の映像が白っぽく録画されることがありますが、正常動作です。
- ・環境など様々な要因により、正しく録画されない場合があります。
- ・録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。
- ・電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

取り付けについての注意事項

- ・本機は、本書にしたがって、正しく取り付けてください。**【P13】**
誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また交通事故やケガの原因となります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を受けたり、与えたりする場合があります。
- ・本体および別体カメラは防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本体および別体カメラを取り付ける前に、必ずガラス面またはダッシュボードとマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れなどをしっかり拭き取り、確実に取り付けてください。
- ・誤動作を起こす可能性がありますので、地デジやETCなどのアンテナ近くには設置しないでください。
- ・本機を激突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどの近くに設置しないでください。
- ・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。
- ・本機を車検シールの上に貼らないでください。

microSDメンテナンスフリー機能について

- ・設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。
このファイルシステムでは、microSDカードに記録する際に発生してしまうファイルの断片化を無くし、録画データのエラー発生率を低減することができ、これにより定期的なフォーマットが不要となります。
- * 画像モード設定の変更やmicroSDカードの状態によっては、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- * 付属のmicroSDカードは、工場出荷時の画像モード設定でファイルシステムが適応されています。
- * 新規購入したmicroSDカードは使用前に必ずフォーマットが必要となります。
- * パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。

パーキングモードについて

- ・パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- ・パーキングモードの録画は、車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担がかかります。定期的な車両バッテリーの点検をおこなってください。
- ・ハイブリッド車両は車両の充電制御の関係上、オプションの常時電源コードの電圧監視設定を11.5Vに設定しないでください。（12V設定推奨）パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・車両バッテリーあがりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・暗い場所など録画できない場合があります。
- ・タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。あらかじめ、ご了承ください。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

ナイトクリア Ver.2（本体カメラ・別体カメラ）について

- ・STARVIS™IMX307搭載。STARVIS（スタービス）は、 $1\mu\text{m}^2$ あたり、2000mV以上（カラー品、706cd/m²光源撮像時、F5.6、1s蓄積換算）の感度を有し、可視光領域に加え近赤外領域までの高画質を実現した、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ用 裏面照射型画素技術です。
- ・走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。【➡P46】

コードについて

- ・本機は付属のコードまたはオプション品のコードを使用してください。それ以外のコードを使用した場合、本機が正常に動作しません。
- ・付属のカメラ接続コード（片側ストレート）およびセーフティリーダー相互通信用コードは本機専用のコードです。他機種でコードを流用、または他機種のコードを利用することはできません。

アイドリングストップ車での使用について

- ・一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。

安全運転支援機能（本体カメラ・別体カメラ*）について

* 別体カメラ接続時

- ・本機のみで設定できません。セーフティリーダーと相互通信して画面上で設定してください。
- ・「キャリブレーション」設定にて、設置する車にあわせて調整してください。【➡P34、P36】
- ・夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- ・取り付けはできるだけ車両の左右の中央部にに取り付けてください。中央部からはすれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- ・安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- ・安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・セーフティリーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- ・横切る車、ヘッドランプなどのON/OFFにより警告する場合があります。

専用ビューアソフトについて

- ・専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、下記URLよりダウンロードしてください。
(https://www.cellstar.co.jp/dlfrm/download_viewer.php)

カメラレンズの注意事項

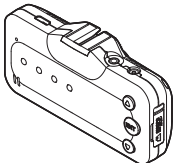
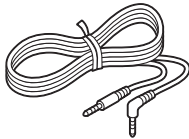
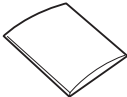
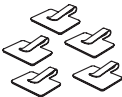
- ・本機の動作中、カメラのレンズ部分が発熱することがありますが、異常動作ではありません。レンズ部分は大変熱くなっていますので、直接手で触れないようご注意ください。

事故発生時の注意事項

- ・イベント録画が保存されない場合があるため、事故発生時は本機からmicroSDカードを取り出し、付属のmicroSDカードケースに保管してください。【➡P21】
- ・パソコンでmicroSDカードを読み込んだ際、SDカードのエラーメッセージが表示する場合がありますがCHKDSK（チェックディスク）プログラムなどで修復処理をおこなわないでください。記録映像が完全に消えてしまう可能性があります。
- ・microSDカードはWindowsパソコンにインストールした専用ビューアで再生してください。

梱包内容の確認

ドライブレコーダーで使用する梱包内容

☐ ドライブレコーダー本体 (CA-D01D) 	☐ 別体カメラ 	☐ 本体用マウントベース * あらかじめ両面テープ（ガラス用）が貼られています。 	☐ 本体用ボールジョイント (ストレート) 
☐ 本体用両面テープ (ドライブレコーダー、ダッシュボード用)  色：グレー	☐ 別体カメラ用マウントベース (ドライブレコーダー用) 	☐ 別体カメラ用ボールジョイント (ドライブレコーダー、ストレート) 	☐ 別体カメラ用両面テープ (ドライブレコーダー、ガラス用) 
☐ カメラ接続コード (片側ストレート)  コード長：9.0m	☐ セーフティリーダー 相互通信用コード  コード長：3.6m	☐ 脱脂クリーナー 一式 	☐ microSD カード (ケース、アダプター付き) * ドライブレコーダー本体に挿入されています。  32GB
☐ コードクリップ 5個 	☐ 取扱説明書 ドライブレコーダー編 (本書) 	☐ クイックスタートガイド (保証書) 	

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

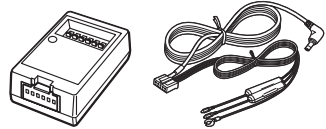
ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

オプション品

別途お買い求めください。

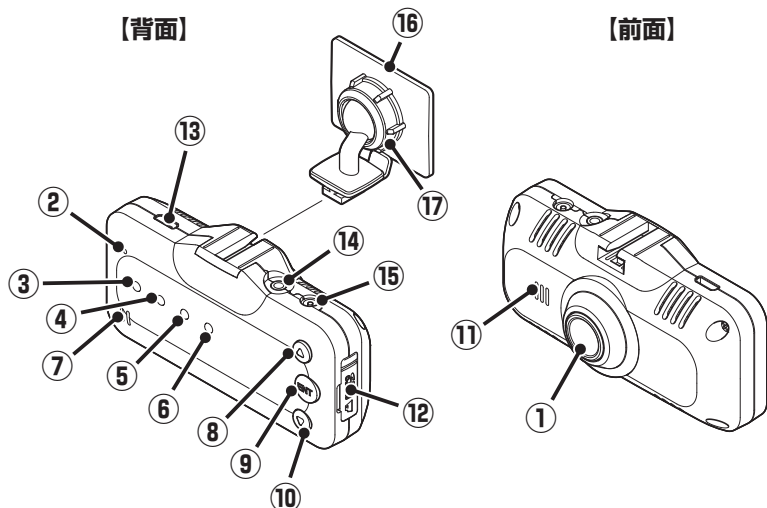
品名	使用目的／仕様	品番
ドライブレコーダー専用 microSD カード 	microSD カードを新たに購入される場合は、セルスターオプションのドライブレコーダー専用 microSD カードをおすすめします。	8GB: GDO-SD8G1 16GB: GDO-SD16G1 32GB: GDO-SD32G1 64GB: GDO-SD64G1
セーフティレーダー相互通信用コード 	付属のセーフティレーダー相互通信用コードのコード長（3.6m）以外で接続する場合に使用します。	GDO-07 コード長：0.4m GDO-16 コード長：0.8m
常時電源コード（3 極 DC プラグ） 	パーキングモード機能を利用する場合に使用します。 最大 12 時間まで電源を供給します。 [➡ P32] [➡ P53]	GDO-10 コード長：5.0m GDO-41 コード長：5.0m（2A） GDO-24 コード長：9.0m
直結配線 DC コード（3 極 DC プラグ） 	車両のヒューズボックス、ACC 線から直接電源を取る場合に使用します。 * ドライブレコーダーを単体で使用する場合に使用します。	GDO-15 コード長：5.0m GDO-42 コード長：5.0m（2A） GDO-26 コード長：9.0m
アクセサリプラグ用 DC コード （3 極 DC プラグ / 2A） 	車両のアクセサリソケットから電源を入力する場合に使用します。 * ドライブレコーダーを単体で使用する場合に使用します。	GDO-43 コード長：4.5m
ビデオ出力コード 	録画中の映像を外部モニターに出力する場合に使用します。[➡ P54] * 再生映像は出力しません。 * 付属のセーフティレーダー相互通信用コードと同時使用できません。 * オプションの DC コード（3 極 DC プラグ）を接続し、DC12V/24V を本機に供給する必要があります。	GDO-09 コード長：3.5m



本機に適合したオプション品の型番は、弊社ホームページの接続対応表をご覧ください。
https://www.cellstar.co.jp/products/pdfs/radar_drive/taiou.pdf

各部の名称と機能

本体



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がしてから、使用してください。

② リセットボタン

本機を再起動します。

③ 録画LED (2色LED)

録画 / 再生モードの動作状態を表示します。

④ PモードLED (2色LED)

⑤ カメラLED (2色LED)

⑥ レーダー LED (2色LED)

⑦ マイク

録画中の音声を録音します。

⑧ ▲ボタン

メニューの移動や音量調整に使用します。
* 本機反転時、▼ボタンの動作となります。

⑨ ENTボタン

モードの切り替えやメニューの決定に使用します。

⑩ ▼ボタン

メニューの移動やクイック録画に使用します。
* 本機反転時、▲ボタンの動作となります。

⑪ スピーカー

音声出力します。(モノラル)

⑫ microSDカードスロット

付属またはオプションの microSD カードを挿入します。
* microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。

⑬ RADARソケット (相互通信端子)

付属のセーフティレーダー相互通信用コードでセーフティレーダーと接続します。

⑭ カメラ接続端子

付属のカメラ接続コード (L 字端子側を接続) で別体カメラを接続します。

* 端子の向きは入れかわっても、使用上問題ありません。

⑮ DC12V/24Vソケット

専用の DC コード (3 極 DC プラグ) を接続し、DC12V/24V を本機に入力します。

* ドライブレコーダー単体使用する場合に使用します。

⑯ 本体用マウントベース

あらかじめ貼られている両面テープでフロントガラスに取り付けます。

* タッチボードに取り付ける場合、ボールジョイントを付属の本体用ボールジョイント (ストレート) に交換してから本体用両面テープ (ドライブレコーダー、タッチボード用) に貼りかえて取り付けてください。

⑰ 角度調整ノブ

本機の取り付け角度を調整します。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

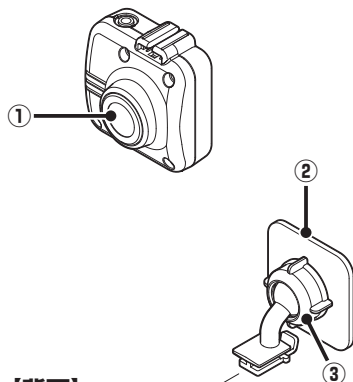
ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

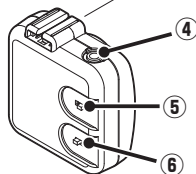
その他

別体カメラ

【前面】



【背面】



① 撮影用カメラレンズ

* 出荷時に保護フィルムが貼られています。
剥がしてから、使用してください。

② 別体カメラ用マウントベース（ドライブレコーダー用）

付属の別体カメラ用両面テープ（ドライブレコーダー、ガラス用）でリヤガラスに取り付けます。

③ 角度調整ノブ

別体カメラの取り付け角度を調整します。

④ カメラ接続端子

付属のカメラ接続コード（ストレート端子側を接続）で本体に接続します。

* 端子の向きは入れかわっても、使用上問題ありません。

⑤ 上下切りかえスイッチ

カメラ映像の上下反転時に使用します。

⑥ 正像鏡像切りかえスイッチ

カメラ映像の左右反転時に使用します。

取り付け方法

⚠ 注意

本機を車両に取り付ける前に、次の内容を確認のうえ取り付けてください。

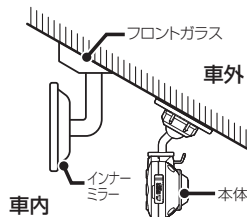
- 本機の誤った取り付けは、道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。正しく取り付けてください。
- 本機を安全に取り付けるために、取り付け作業は明るく安全な場所でおこなってください。
- 本機を取り付ける前には、必ず車のパワー（イグニッション）スイッチをオフにし、キーを抜いた状態で取り付けてください。
- 本機に相互通信用コードまたはオプションのDCコード（3極DCプラグ）以外のコードを使用しないでください。
- 本体および別体カメラを設置した部分のガラスに汚れがあると十分な映像を撮影できない可能性がありますので、いつもきれいに保ってください。
- 夜間走行時にはカーナビゲーションおよび、車両用モニターがフロントガラスに映り込み、記録画像に影響を与えることがあります。映り込み画像が撮影領域に入らないように角度を調整してください。
- 本機は上空からのGPS信号を受信して自車位置を記録します。そのため本体の上や前（車の進行方向）などに金属などの障害となるものがないよう取り付けてください。
- 本体および別体カメラは防水構造ではありません。雨などで本機やコードがぬれないようご注意ください。

⚠ 警告

- 事故発生時の衝撃により本体および別体カメラがはずれる場合がございます。ガラス面またはダッシュボード表面のマウントベースの両面テープ貼り付け部分の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、本体および別体カメラを確実に取り付けてください。
- セーフティレーダーの設置場所によって付属のセーフティレーダー相互通信用コードの長さが余ったり足りない場合は、オプションのセーフティレーダー相互通信用コードをお買い求めください。

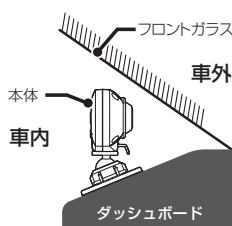
本体と別体カメラの設置場所（推奨）

■ 本体をフロントガラスに取り付ける場合



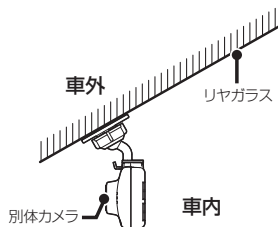
【⇒P14】

■ 本体をダッシュボードに取り付ける場合



【⇒P15】

■ 別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

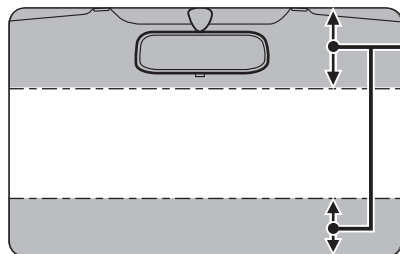


【⇒P16】

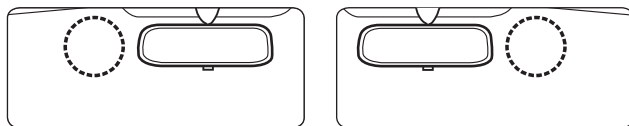
本体をフロントガラスに取り付ける場合

フロントガラスへの取り付け位置（正面）

フロントガラス



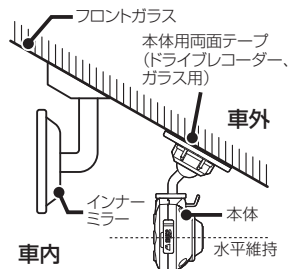
フロントガラス上部から
フロントガラス全体の20%
以内またはフロントガラス
下部から150mm以内に
取り付けてください。



フロントガラスの中央部に設置できない場合は、広い視野角を活用して
インナーミラーの左、もしくは右側に設置することもできます。
中央部に設置できない場合、録画映像が片方にかたよる可能性があります。

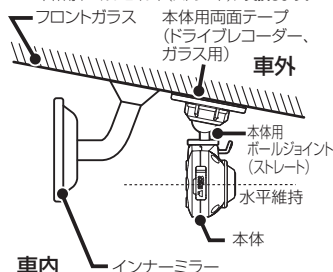
フロントガラスへの取り付け位置（側面）

■ 一般的な乗用車

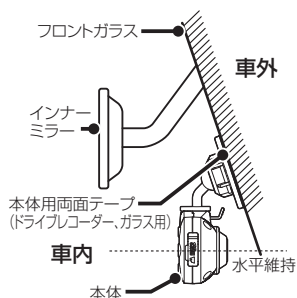


■ フロントガラスが寝ている車

* 本体用ボールジョイント(ストレート)に交換します。



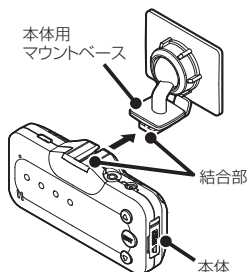
■ ワンボックスやトラックなど



- ・図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- ・セーフティレーダー相互通信コードまたはオプションのDCコードは本体の取り付けが完了してから接続してください。

フロントガラスへの取り付け

- 1 本体用マウントベースと本体の結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。

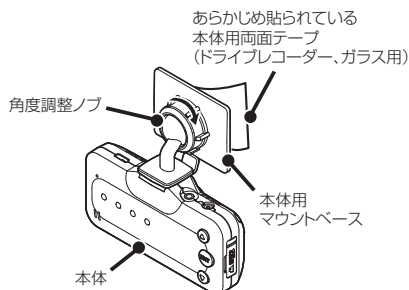


- 2 あらかじめ貼られている本体用両面テープ（ドライブレコーダー、ガラス用）を使用して本体を設置する場所に取り付ける。

* 推奨フロントガラス設置位置を参照して、取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわして本体を固定する。

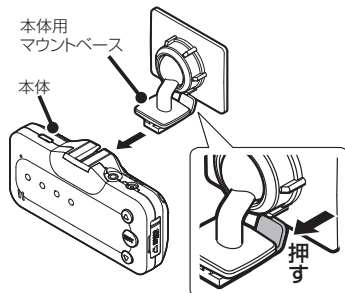
角度調整ノブを緩めると本体の取り付け角度を調整できます。



* 必要に応じて、先に本体用マウントベースを車両側に取り付けてから本体を設置してください。

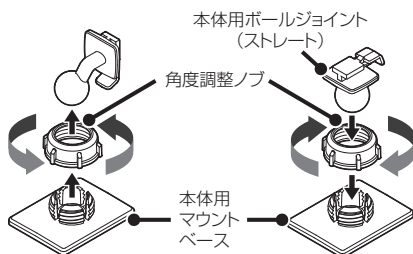
本体用マウントベースから本体を取りはずす

本体用マウントベースのツメ部を押し、本体を矢印の方向に引きはずします。



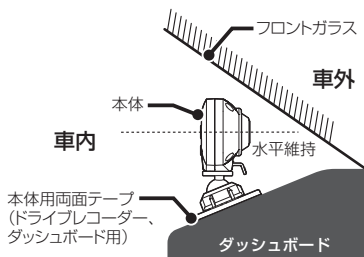
本体をダッシュボードに取り付ける場合

本体用マウントベースから角度調整ノブをはずし、本体用ボールジョイント（ストレート）に付け替え、本体用両面テープ（ドライブレコーダー、ダッシュボード用）に貼り替えます。



* 先に本体用ボールジョイント（ストレート）を角度調整ノブに差し込み、本体用マウントベースに取り付けてください。

図のようにカメラ前方を遮ることがないように取り付けてください。

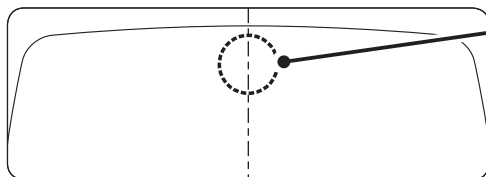


別体カメラをリヤガラスに取り付ける場合

取り付け位置（正面）

図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。

リヤガラス



リヤガラスの中央位置に設置すると、最適な録画映像を得ることができます。

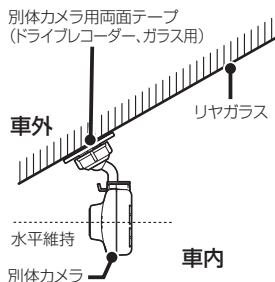
⚠ 注意 リヤガラスに別体カメラを取り付ける前に下記内容を必ず確認してください。

- ・事故発生時の衝撃により別体カメラがはずれる場合があります。ガラス面の油分や汚れを付属の脱脂クリーナーでしっかり拭き取り、別体カメラを確実に取り付けてください。
- ・リヤのサンシェードなどに問題がないことを確認してください。
- ・両面テープの貼り付け面がリヤガラスの熱線と重ならないように取り付けてください。
- ・プライバシーガラスやフィルムが貼られている車両は、夜間や暗い場所では録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・ラジオアンテナやGPS、地デジアンテナ付近にカメラ接続コード（片側ストレート）を配線すると、これらの受信感度が下がる場合があります。
- ・リヤワイパーが装着された車両の場合、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
- ・リヤワイパー非装着車およびワイパー拭き取り範囲外に取り付けると、リヤガラスの汚れや雨などにより録画記録映像が見づらくなる場合があります。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- ・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見づらくなる場合があります。
- ・取り付けにより車両に問題が発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・後方の安全運転支援機能（煽り運転防止）を有効にするには、セーフティレーダーと相互通信をおこない画面上でキャリブレーション設定をおこなってください。【➡P36】

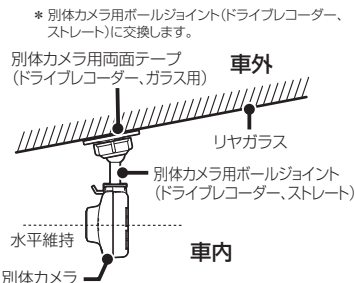
取り付け位置（側面）

- 図のように別体カメラ後方を遮ることがないように取り付けてください。
- 別体カメラが取り付けいた状態で、図のように別体カメラが水平を維持するように取り付けてください。図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。
- 取り付け場所によっては、リヤガラスの熱線やプライバシーガラスが映像の邪魔となる場合があります。

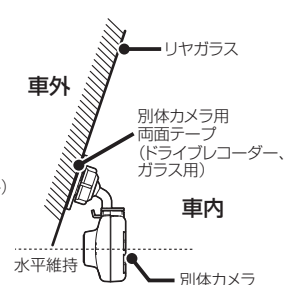
■ 一般的な乗用車



■ リヤガラスが寝ている車

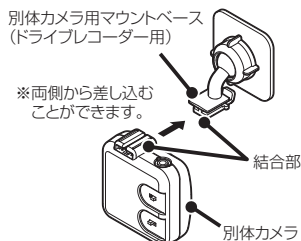


■ ワンボックスやトラックなど



リヤガラスへの取り付け

- 1 別体カメラ用マウントベース（ドライブレコーダー用）と別体カメラの結合部をあわせ、矢印の方向に差し込む。

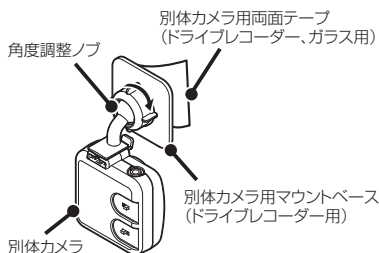


- 2 別体カメラ用両面テープ（ドライブレコーダー、ガラス用）を使用してリヤガラスに取り付ける。

* 推奨の設置位置を参照して、熱線を避けて取り付けてください。

- 3 角度調整ノブを右側にまわして別体カメラを固定する。

角度調整ノブを緩めると別体カメラの取り付け角度を調整できます。



- * 必要に応じて、先に別体カメラ用マウントベース（ドライブレコーダー用）を車両側に取り付けてから別体カメラを設置してください。
- * 別体カメラの上下切りかえスイッチを↑、正像鏡像切りかえスイッチをN（正像）に変更してください。
【→P18】

はじめに

取り付けと準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

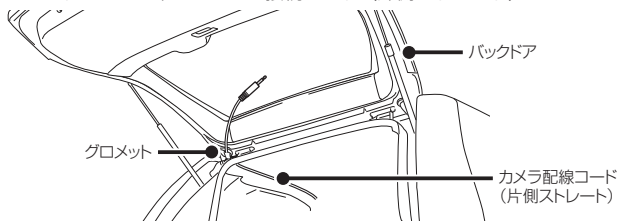
その他

本体と別体カメラを接続

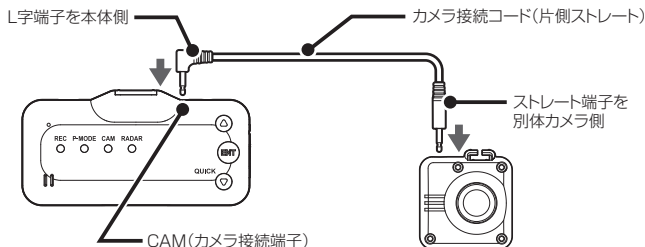
接続方法

取り付けと
準備

- 1 別体カメラに接続するカメラ接続コード（片側ストレート）を配線する。
バックドアがある車は、カメラ接続コード（片側ストレート）をグローメット内に通して配線してください。



- 2 付属のカメラ接続コード（片側ストレート）で本体と別体カメラを接続する。



* カメラ接続コード（片側ストレート）の端子の向きは入れかわっても使用上問題ありません。ガラスに干渉しないよう接続してください。

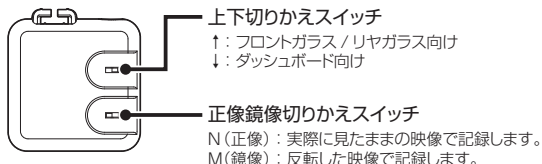
⚠ 注意

- カメラ接続コード（片側ストレート）のプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラ接続コード（片側ストレート）は、雨漏りしないよう配線してください。
- 付属のカメラ接続コード（片側ストレート）は本機専用のコードです。他機種でコードの流用はできません。

別体カメラの設定

別体カメラの設置場所にあわせて別体カメラの設定を変更します。

■ 推奨設定



セーフティレーダーとの接続

付属のセーフティレーダー相互通信コードで本機とセーフティレーダーを接続してください。相互通信での本体の使用方法は、「相互通信使用編」をご覧ください。【→P27】

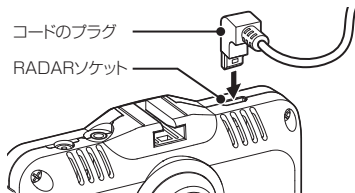
余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やバッキン類の隙間に入れます。

⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。また、エアバッグの内蔵されている部品などをはずさないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合は、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。
- セーフティレーダー相互通信コードは弊社製ドライブレコーダー専用です。それ以外の製品に使用することはできません。
- セーフティレーダー相互通信コードは12V車専用です。セーフティレーダーを24V車に接続した場合、本製品を取り付けないでください。故障の原因となります。
- セーフティレーダー相互通信コードを改造し使用すると、セーフティレーダーやドライブレコーダーの故障の原因となります。
- セーフティレーダー相互通信コードのケーブルは地デジのアンテナ部分（ブースターおよびアンテナ線）に接触しないよう、できるだけ離して配線してください。

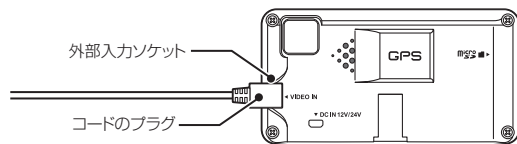
1 セーフティレーダーのDCコードをはずし、セーフティレーダー本体の電源をOFFにする。

2 セーフティレーダー相互通信コードのプラグをドライブレコーダー本体のRADARソケットに差し込む。



- プラグの向きとソケットの向きに気を付けて差し込んでください。
- セーフティレーダー相互通信コードのプラグをドライブレコーダーのRADARソケット、セーフティレーダーの外部入力ソケットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。隙間があると接続不良になり、映像出力やリモコン操作などができないことがあります。

3 セーフティレーダー相互通信コードのプラグをセーフティレーダーの外部入力ソケットに差し込む。



4 セーフティレーダーのDCコードを差し込み、セーフティレーダー本体の電源をONにする。

* セーフティレーダーから電源が供給されるため、起動に時間がかかる場合があります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

microSDカードの挿入および取り出し



注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

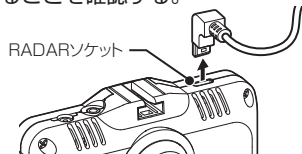
- microSDカードは、指定のmicroSDカードをご使用ください。なお、microSDカードは、本機に挿入されています。指定以外のmicroSDカードを使用されると、データの損失や記録できない可能性があります。
- microSDカードを電源がONになっている状態で抜き差ししないでください。本機が正常に動作しない場合があります。
- microSDカードを取り出すときは、本機からセーフティリーダー相互通信用コードまたはDCコードをはずし、必ず本体の動作LEDが消えたことを確認してください。その後microSDカードを取り出してください。
動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと録画を終了することができず、記録映像が中断されるか一部分が削除されるなど、場合によってはmicroSDカードが破損するおそれがあります。
- microSDカードをフォーマットする際は、必ず本機のフォーマット機能でおこなってください。
- microSDカードをフォーマット、または画像モードを変更すると、記録ファイルはすべて消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。
- 付属のmicroSDカード以外を挿入すると、カードの異常エラーを表示する場合があります。画面の指示にしたがってフォーマットをおこなってください。
- microSDカードの容量によっては、起動時間が変動（長くなったり）する場合があります。
- パソコンなどでmicroSDカード内の記録ファイルを変更（削除、追加、移動）しないでください。バックアップはファイルのコピーでおこなってください。
- 本体の設定情報は、microSDカード内に保存されています。本機以外でフォーマットや新たなmicroSDカードを使用すると、設定情報が無いため、本機の設定は初期値にもどります。

取り付けと
準備

microSDカードの挿入

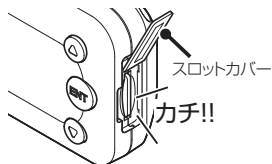
*** 必ず、本機からセーフティリーダー相互通信用コードまたはDCコードをはずし、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。**

- 1** 本体からセーフティリーダー相互通信用コードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。

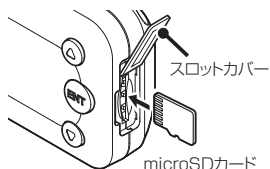


* DCコードを使用している場合は、DCコードのプラグをはずしてください。

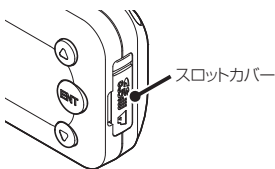
- 3** microSDカードがスロット内部に確実に差し込まれたことを確認する。



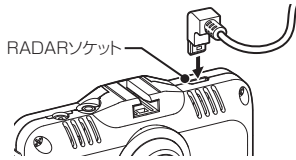
- 2** 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードの向きに注意してスロットに挿入する。



- 4** スロットカバーを閉じる。



5 本体にセーフティレーダー相互通信用コードを接続する。



* DCコードを使用している場合は、DCコードのプラグを接続してください。

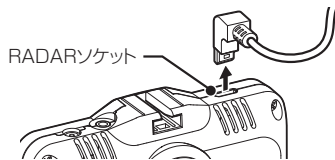
⚠ 注意

- microSDカードを挿入していないと録画が開始されません。
- microSDカードには向きがあります。差し込む向きに注意して最後まで確実に挿入してください。正しく挿入されていないとmicroSDカードの破損、および誤動作の原因になります。
- microSDカードの接続端子には手を触れないでください。汚れや異物が付着するとカード内のデータが損失するおそれがあります。

microSDカードの取り出し

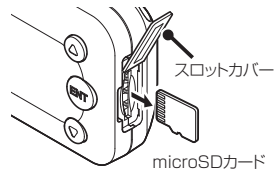
* 必ず、本機からセーフティレーダー相互通信用コードまたはDCコードをはずし、本体の電源がOFFになっていることを確認してからおこなってください。

1 本体からセーフティレーダー相互通信用コードをはずし、電源がOFFになっていることを確認する。

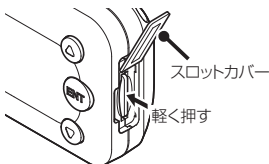


* DCコードを使用している場合は、DCコードのプラグをはずしてください。

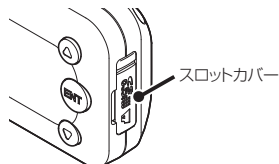
3 microSDカードを取り出す。



2 本体のスロットカバーをめくり、microSDカードを軽く押し込む。



4 microSDカードを取り出したあと、スロットカバーを閉じる。



製品の使用方法

⚠ 注意

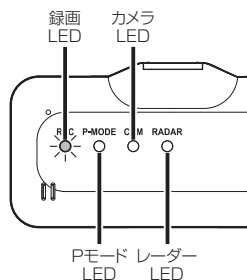
製品を使用する前に次の内容を熟知してください。

- 車の運転中は本機の操作を絶対にしないでください。
- 映像の記録は、microSDカードが正しく挿入されているときのみ可能です。
- 録画中にmicroSDカードが取り出されると警告音となり、録画した映像の一部が削除されたりmicroSDカードが破損する場合があります。
- 電源ONのあと、録画の開始まで時間がかかります。必ず録画が開始されたことを確認してからご使用ください。

本機を単体で使用する場合、GPS機能を使えないため、必ず日時設定をおこなってください。【➡P51】

基本操作

電源のON/OFF



■ 電源のON

本機には電源ボタンがありません。電源を入れるには、セーフティレーダー相互通信コードまたはDCコードが車両に繋がれている状態で車のパワー（イグニッション）スイッチをONにします。

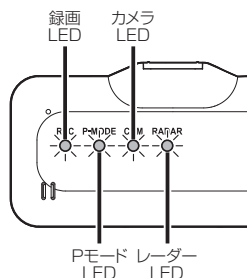
録画LEDが緑色点灯し、数秒後効果音とボイスアシストでお知らせし、常時録画を開始します。

* 本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。

■ 電源のOFF

パワー（イグニッション）スイッチをOFFにすると最後の録画ファイルを安全に保存し、録画LEDが赤色点灯し、効果音のあと電源が自動的にOFFになり、LEDが消灯します。

エラー表示



microSDカードが挿入されていない、もしくはカメラの初期化エラーなどが発生した場合は、次のようなLEDの状態とボイスアシストでお知らせします。

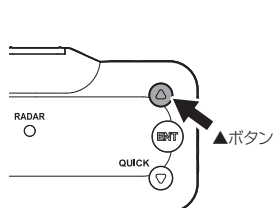
	録画 LED	P モード LED	カメラ LED	レーダー LED	ボイスアシスト
microSD カード無し	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	赤色点滅	あり
microSD カード設定エラー	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	あり
SD カード書き込み禁止モード検知	赤色点滅	緑色点滅	赤色点滅	緑色点滅	あり
カメラエラー	消灯	消灯	速い赤色点滅	消灯	あり
日時設定の異常	緑色点滅	赤色点滅	緑色点滅	赤色点滅	あり

* 新しいmicroSDカード挿入時やmicroSDカード設定エラー、日時設定の異常を表示した場合は、microSDカードを強制フォーマットする必要があります。「ピンポン」と聞こえるまでENTボタンを長押ししてください。

* カメラエラーを表示した場合は、本書裏表紙記載のお客様相談窓口までお問い合わせください。

音量調整（工場出荷時：2）

本機のスピーカーから出力される音量を調整します。



1

▲ボタンを押して設定したい音量を選択する。

▲ボタンを押す度に（2→1→0→3）の順でループします。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

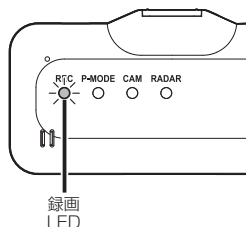
その他

録画方法

録画モードについて

本機が動作すると同時に録画LEDが緑色点滅し、常時録画が自動的に開始します。
録画モードの状態は、録画LEDで確認できます。

* 録画中の音声を録音しない場合、設定メニューの「音声録音」を「オフ」にしてください。【→P48】



●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
常時録画	緑色点滅
イベント録画	速い緑色点滅
クイック録画	速い緑色点滅

常時録画モードとイベント録画モード

■ 常時録画モード

録画 LED が緑色点滅し、1 分単位で録画し続けます。



* パーキングモードでは、常時録画画質の設定によって 1 分～ 10 分まで変動します。

■ イベント録画モード（自動）/クイック録画

常時録画中にイベント（走行中の外部衝撃や事故）が発生した場合、手動でクイック録画を開始した場合、常時録画を中断して、効果音と録画 LED が緑色点滅（速い）し、前後のイベント録画ファイルを生成します。イベント録画モード後、常時録画モードにもどります。



* 常時録画はイベント発生まで録画します。

- * イベントとは、衝撃を検知した場合という意味で使用しています。3Gセンサーが高感度に設定されている場合、細かな衝撃も検知します。3Gセンサー感度が低感度に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。設定メニューの「3Gセンサー感度」で調整することができます。【→P48】
- * 車や運転の状態など様々な要因により、イベント録画にならない場合があります。
- * 録画ファイルがmicroSDカードの録画領域を超えた場合、古いデータから上書きされます。
- * 常時録画とイベント録画で生成されたファイルは指定のフォルダに保存されます。
- * 常時録画（microSDカード総容量の73%）、イベント録画（microSDカード総容量の20%）で分割管理されています。
- * 録画モードでイベント録画（手動による撮影も含む）をおこなっている最中は、ボタンの操作を受け付けません。ボタンの操作をおこなう場合は、常時録画中におこなってください。
- * 録画中の状況により、録画のビットレートは可変します。
- * 事故などが発生した場合、録画ファイルが上書きされないよう、本機からmicroSDカードを取り出して保管してください。
- * スーパーキャパシタ（蓄電能力を持つコンデンサ）により、事故の衝撃で電源ケーブルがはずれてしまっても録画映像を正常に保存します。蓄電状況によっては、正常に保存されない場合があります。

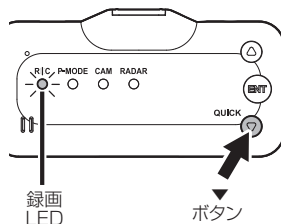
microSDカードの保存先とファイル名について

録画モード	保存フォルダ名	ファイル名	最大保存容量
常時録画モード	INFINITE ├1: 本体カメラ映像 └2: 別体カメラ映像	通常時 : NNF_****.avi	microSD カード総容量の 73% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PNF_****.avi	
		パーキングモード (モーション) : PMF_****.avi	
イベント録画モード	EVENT ├1: 本体カメラ映像 └2: 別体カメラ映像	通常時 : NEF_****.avi	microSD カード総容量の 20% (最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます)
		パーキングモード : PEF_****.avi	

* ファイル名の **** には、年月日ー時分秒が入ります。 例: 230201ー101010は、2023年2月1日10時10分10秒です。

クイック録画機能 (手動)

イベントを手動で録画するための機能です。記録映像はmicroSDカードの[EVENT]フォルダに保存されます。



- 1 本機の動作中に▼ボタンを押す。(1秒以内)
効果音が鳴り、手動にてイベント録画することができます。
●録画モードの状態を録画LEDとボイスアシストでお知らせします。

録画モード	録画 LED の状態
クイック録画	速い緑色点滅

- * 録画映像は、ボタンを押した5秒前と20秒後を含み記録します。
- * この機能は、本機がイベント録画中である場合は使用できません。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

パーキングモードの録画仕様について

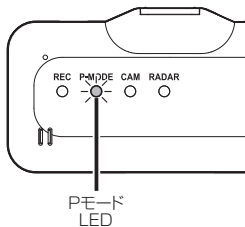
画像	D1（別体カメラ：D1）
画質	低
明るさ	中
コントラスト	中
GPS	オフ

- * パーキングモードのバッテリー電源供給時間は、常時電源コードのディップスイッチの設定で動作します。詳しくは、オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をお読みください。
- * カメラ接続コード（片側ストレート）がはずれたなど、別体カメラを認識していない場合、本体カメラだけで録画されます。

パーキングモードの動作

パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから6秒後、パーキングモードが作動し、PモードLEDが遅く点滅します。

- パーキングモードの動作中、▼ボタンを押すと、LEDが速く点滅し、クイック録画をおこないます。録画後、LEDが遅く点滅します。
- パーキングモードの動作中、V-OUT（ビデオ出力）はオフになります。



パーキングモード設定	PモードLED
オン 常時録画	遅い赤色点滅
オン 常時録画+イベント録画	遅い2回赤色点滅
オン モーション	遅い緑色点滅
オン モーション+イベント録画	遅い2回緑色点滅
オフ	消灯

パーキングモードの動作中、イベントが発生、モーション検知した場合

パーキングモードを解除した際に「録画ファイルがあります」と音声出力します。

- * パーキングモード中のイベント録画の感度は、パーキングモード感度にて調整してください。

本機をセーフティレーダーと相互通信で使用

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

相互通信使用編

- * 設定方法はリモコン（付属）操作で案内しています。
- * 付属のセーフティレーダー相互通信用コードで本機とセーフティレーダーを接続して使用します。
- * パーキングモード機能を使用するには、オプションの常時電源コードが必要です。

相互通信機能について

DC12V専用

本機とセーフティレーダーをセーフティレーダー相互通信コードで接続することにより、設定画面やカメラ映像および再生映像をセーフティレーダーの画面に表示させることができ、セーフティレーダー上で操作できるようになります。また、GPSの位置情報や電源、OBDⅡの速度データもセーフティレーダーより供給され、操作音もセーフティレーダーから出力されます。

- * 撮影モードは、相互通信時は使用できません。
- * セーフティレーダーのGPSから録画データに日時情報が入力されます。
- * 本機能を使用するには、弊社製相互通信対応セーフティレーダーが必要です。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

準備するもの

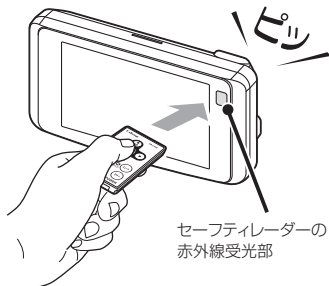
- リモコン



- * パーキングモード機能を使用するにはオプションの常時電源コードが必要です。

リモコンの操作

リモコンの操作をするときは、リモコンを図のように持ち、セーフティレーダーの赤外線受光部に向けてボタンを押してください。

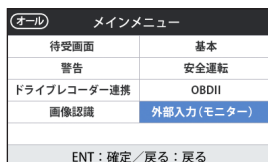


✓ アドバイス

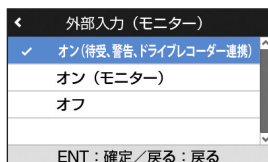
- ・リモコンを紛失すると、セーフティレーダーの操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。
- ・セーフティレーダーの赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本機の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

セーフティレーダーの外部入力設定

セーフティレーダーの画面操作はリモコンでおこないます。このとき、音量調整、クイック録画以外は、本機のボタンでは操作することはできません。



- 1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切りかえ、**【外部入力（モニター）】**を選び、**ENTボタン**を押す。



- 2 ▲▼ボタンを押して設定内容を選び、**ENTボタン**を押す。

• オン（待受/警告/ドライブレコーダー連携）（工場出荷時の初期設定）

相互通信機能をオンにします。「カメラ」表示できる待受画面に設定すると、本機のカメラ映像がセーフティレーダーの画面に表示されます。

• オン（モニター）

相互通信する場合は選択しないでください。

* モニター中は、セーフティレーダーで本機の操作ができません。終了するには、**戻るボタン**を押してください。

• オフ

相互通信機能をオフにします。

⚠ 注意

- セーフティレーダー相互通信コードで本機とセーフティレーダーを接続し、セーフティレーダーのリモコンで電源をON/OFFしても、本機の電源は連動せず、供給し続けます。
- セーフティレーダーの電源をリモコンでOFFの状態からONにすると、本機が再起動します。
- セーフティレーダーの電源をリモコンでOFFにすると、本機へのGPS情報の供給がOFFになります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

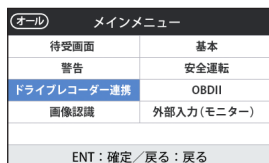
設定の変更方法

各設定メニューの変更は以下の手順でおこないます。

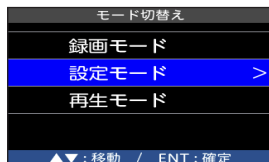
専用ビューアソフトで本体の設定も可能です。詳しくは、ダウンロードした専用ビューアソフト付属の説明書をご覧ください。

- * 設定中は、録画はできません。
- * 設定メニュー画面にて1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。

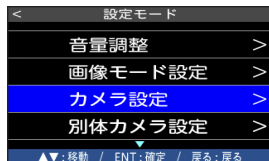
画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。



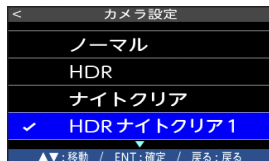
1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切りかえ、【ドライブレコーダー連携】を選び、ENTボタンを押す。



2 ▲▼ボタンを押して【設定モード】を選び、ENTボタンを押す。



3 ▲▼ボタンを押して変更したい設定項目に移動し、ENTボタンを押す。



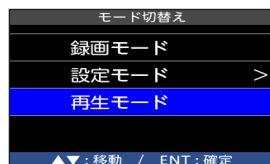
4 ▲▼ボタンを押して設定内容を変更し、ENTボタンを押す。

5 引き続き他の設定を変更する場合は、戻るボタンを押してメインメニューにもどり、▲▼ボタンを押して設定メニューを選ぶ。
設定を終了してメインメニュー画面または通常画面にもどる場合は戻るボタンを押します。

再生モード

本機で記録した映像は、セーフティレコーダーで再生できます。

* 再生モード中は、録画はできません。



1 ENTボタンを押してメインメニュー画面に切りかえ、【ドライブレコーダー連携】を選び、ENTボタンを押す。

2 ▲▼ボタンを押して【再生モード】を選び、ENTボタンを押す。



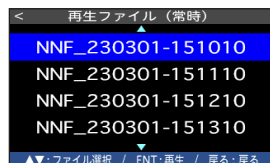
3 ▲▼ボタンを押して【常時】または【イベント】を選び、ENTボタンを押す。

「再生ファイル」画面に切りかわります。

【戻る】: 「再生モード」画面にもどる



4 ▲▼ボタンを押して【1】本体カメラまたは【2】別体カメラを選び、ENTボタンを押す。



5 ▲▼ボタンを押してファイルを選び、ENTボタンを押す。

セーフティレコーダーのディスプレイで再生が開始されます。
再生ファイルが多い場合は、▲▼ボタンを押して、スクロールさせます。

再生中にENTボタン: 「再生ファイル」画面にもどる

- * 再生ファイル名について 【➡P25】
- * ファイルは、録画された時間の順に表示されます。
- * 再生ファイルは、常時録画で1分です。(パーキングモード時 【➡P58】)
- * ファイル名は実際の製品と異なります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

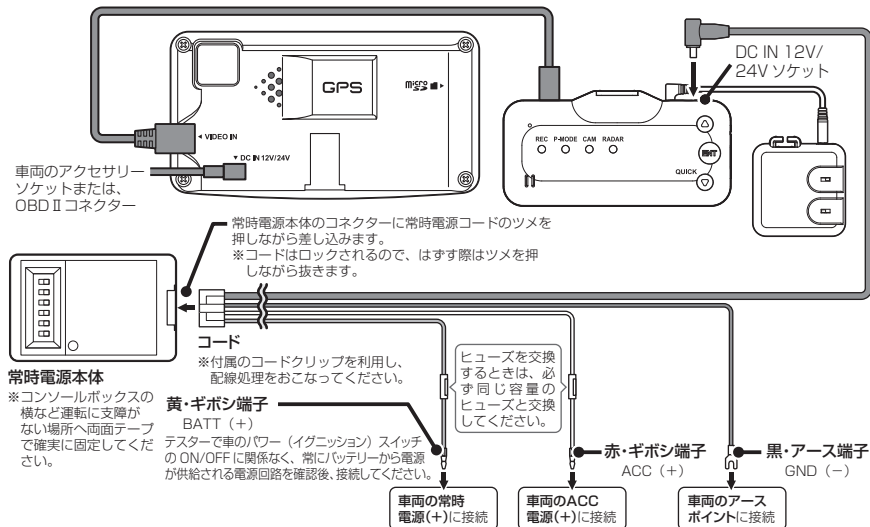
相互通信時のパーキングモードについて

パワー（イグニッション）スイッチがOFFになり、セーフティレーダーから電源の供給がなくなると、オプションの常時電源によって車両バッテリーからの電源供給に切りかわります。また、セーフティレーダーからGPS情報の供給もオフになります。

* パーキングモード中は本機内部の日時設定を参照します。必ず、日時設定をおこなってください。【➡P51】

相互通信時の常時電源接続方法

セーフティレーダー相互通信コードで本機とセーフティレーダーを接続した状態で、本機のDC12V/24Vソケットにオプションの常時電源を接続します。



パーキングモードの設定方法 【➡P50 ~ P51】

安全運転支援機能（本体カメラ）

本体カメラで前方の安全運転支援機能を動作します。

- * セーフティレーダーとの相互通信時のみ設定、機能を使用できます。
- * 「キャリブレーション（本体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。【⇒P34】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんぱんに警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能の動作は目安です。実際の道路状況にしたがって走行してください。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * セーフティレーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- * 横切る車、ヘッドランプなどのON/OFFにより警告する場合があります。

前車発車警告

停車時、前車が出発したことを警告します。



セーフティレーダー上のディスプレイ

車間距離保持警告

設定した速度以上で走行時、前車との適正距離を保持するよう警告します。



セーフティレーダー上のディスプレイ

車線逸脱警告

設定した速度以上で走行時、車線を逸脱すると警告します。



セーフティレーダー上のディスプレイ

安全運転支援機能を使用する前に、キャリブレーションの設定をおこなう必要があります。【⇒P34】

安全運転支援機能（本体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
前車発車警告	オフ	オン / オフ
車間距離保持警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車間距離保持警告が動作する走行速度を設定します。
車線逸脱警告	オフ	40 キロ / 50 キロ / 60 キロ / 70 キロ / 80 キロ / 90 キロ / 100 キロ / オフ 車線逸脱警告が動作する走行速度を設定します。
キャリブレーション		画面で調整します。【⇒ P34】
警告音	オン	オン / オフ

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

キャリブレーション（本体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて本体カメラの調整をおこないます。

車種を設定する

- 1 ドライブレコーダー連携から【安全運転支援機能】に移動し、ENTボタンを押す。
- 2 キャリブレーション設定から【車種】を選択する。
- 3 一覧から車に近い車種を選び、ENTボタンを押す。
 - ・乗用車
 - ・SUV
 - ・大型車

地平線を調整する



- 1 ドライブレコーダー連携から【安全運転支援機能】に移動し、ENTボタンを押す。
- 2 キャリブレーション設定から【地平線】を選び、ENTボタンを押す。
- 3 画面を見て赤線が道路の先端にくるように▲▼ボタンで調整し、ENTボタンを押す。

ボンネットを調整する



- 1 ドライブレコーダー連携から【安全運転支援機能】に移動し、ENTボタンを押す。
- 2 キャリブレーション設定から【ボンネット】を選び、ENTボタンを押す。
- 3 画面を見てオレンジ線の高さがボンネットの高さと同じになるように▲▼ボタンで調整し、ENTボタンを押す。

* トラックなどボンネットが見えない車両の場合、線を一番下に設定してください。

安全運転支援機能（別体カメラ）

別体カメラで後方の安全運転支援機能を動作して煽り運転を防止します。

- * 別体カメラ接続時、セーフティレーダーとの相互通信時のみ設定、機能を使用できます。
- * 「キャリブレーション（別体カメラ）」にて、設置する車にあわせて調整してください。【⇒P36】
- * 夜間や悪天候時、また昼間でも路面や走行状況によって機能が動作しない、またはひんばんに警告する場合があります。
- * リヤガラスにスモークフィルムを貼っている場合、画像認識しにくいいため機能が動作しないことがあります。
- * 取り付けはできるだけ車両の左右の中央部に取り付けてください。中央部からはずれますと判定誤差が大きくなり、警告しない、またはひんばんに警告する場合があります。
- * 安全運転支援機能による事故に関し弊社は一切の責任を負いかねます。
- * セーフティレーダーの「スカウター機能」と連動しません。
- * 走行状況により後方からの接近の判断ができない場合があります。特に夜間、トンネル内などの暗い場所では判定率が下がるため誤判断（誤認）する場合があります。

後車接近警告

後車が接近すると、警告音やイベント録画をおこない、ドライバーに注意を促します。

- * 「安全運転支援機能（別体カメラ）」の「警告音」を「オン+イベント録画」に設定すると、後方車が接近（煽り運転）時、イベント録画を開始します。



セーフティレーダー上のディスプレイ

安全運転支援機能（別体カメラ）の設定内容一覧

安全運転支援機能メニュー	設定値	設定項目
後車接近警告	オフ	40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ/オフ 後車接近警告が動作する走行速度を設定します。
判定距離	10m	5m/10m
キャリブレーション		画面で調整します。【⇒ P36】
警告音	オン	オン / オフ / オン+イベント録画

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

キャリブレーション（別体カメラ）

安全運転支援機能を使用するために、設置する車にあわせて別体カメラの調整をおこないます。

地平線（別体カメラ）を調整する

- 1 ドライブレコーダー連携から【安全運転支援機能（別体カメラ）】に移動し、ENTボタンを押す。
- 2 【キャリブレーション】を選び、ENTボタンを押す。
- 3 画面を見て緑線が道路の先端にくるように▲▼ボタンで調整し、ENTボタンを押す。
（上下の赤線2本は動きません。）

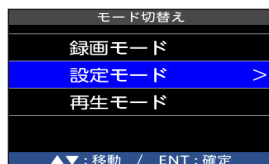


フォーマット

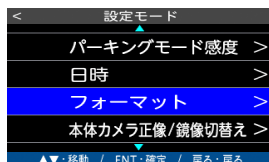
microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

* microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

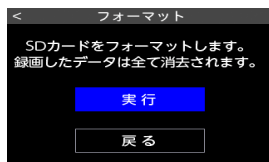
* 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。



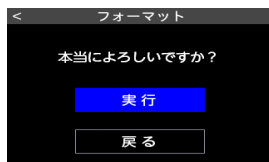
1 ドライブレコーダー連携から【設定モード】に移動し、ENTボタンを押す。



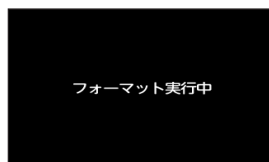
2 ▲▼ボタンを押して【フォーマット】を選び、ENTボタンを押す。



3 ▲▼ボタンを押して【実行】を選び、ENTボタンを押す。
【戻る】: 「設定モード」画面にもどる



4 ▲▼ボタンを押して【実行】を選び、ENTボタンを押す。
【戻る】: 「フォーマット」画面にもどる



ディスプレイには「フォーマット実行中」と表示します。
フォーマット完了後、自動的に録画モードが開始されます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

設定一覧

設定一覧

- * 1：セーフティリーダーと相互通信時、項目が表示されます。
- * 2：別体カメラ接続時、項目が表示されます。

設定メニュー	初期設定	設定項目	
音量調整 *1	2	3	: 音量を (大) にします。
		2	: 音量を (中) にします。
		1	: 音量を (小) にします。
		0	: 音量を (無) にします。
画像モード設定	高画質	高画質	: 録画画質を高画質に適した設定にします。
		標準	: 録画画質を標準的な設定にします。
		カスタム	: 録画画質などの設定をお好みで設定できます。【➡ P40】
カメラ設定	HDR ナイトクリア 1	ノーマル	: HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。
		HDR	: HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリアによる画像補正はおこないません。
		ナイトクリア	: STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正はおこないません。
		HDR ナイトクリア 1	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (小) です。
		HDR ナイトクリア 2	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (中) です。
		HDR ナイトクリア 3	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (大) です。
別体カメラ設定 *2	HDR ナイトクリア 1	ノーマル	: HDR、ナイトクリアによる画像補正をおこないません。
		HDR	: HDR による画像補正をおこない、急激な明るさの変化が発生しても白トビや黒ツブレを低減します。 ナイトクリアによる画像補正はおこないません。
		ナイトクリア	: STARVIS により、夜間・トンネルなど光量の少ない場所でも鮮明な映像を記録できます。HDR による画像補正はおこないません。
		HDR ナイトクリア 1	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (小) です。
		HDR ナイトクリア 2	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (中) です。
		HDR ナイトクリア 3	: HDR とナイトクリアによる画像補正をおこないます。 ナイトクリアによる光量の効果は (大) です。
別体カメラ表示 *2	オン	オン	: 本体カメラをメイン、別体カメラを小窓で表示します。
		オン 優先	: 別体カメラをメイン、本体カメラを小窓で表示します。
		オフ	: 別体カメラを非表示にします。
		メイン	: 別体カメラをメインで表示します。
録画モード	常時+イベント	常時	: 常時録画 (1 分単位) します。
		常時+イベント	: 常時+イベント録画します。
3G センサー感度	標準	高い	: 3G センサーを高感度に設定します。
		標準	: 3G センサーを標準に設定します。
		低い	: 3G センサーを低感度に設定します。
		カスタム (相互通信時のみ 1 ~ 10 で設定ができます)	【➡ P40】
音声録音	オン	オン	
		オフ	

設定一覧（つづき）

- * 1：セーフティレーダーと相互通信時、項目が表示されます。
 * 2：別体カメラ接続時、項目が表示されます。
 * 3：オプションの常時電源コード接続時、項目が表示されます。

設定メニュー	初期設定	設定項目
インポーズ記録	オン	オン : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録します。 オフ : 録画映像の画面に日付情報、現在地の緯度経度、走行速度を記録しません。
位置情報取得 *1	オン	オン : GPS から位置情報を取得し記録、表示します。 オフ : GPS から位置情報を取得しません。
ボイス	オン	オン : ボイスアシスト（音声案内）をおこないます。 オフ : ボイスアシスト（音声案内）をおこないません。
LED 表示	オン	オン : 警告時などで LED ランプを表示します。 オフ : LED ランプを消灯します。 オールオフ : LED ランプ、ボイスをオフにします。
安全運転支援機能 *1	—	[⇒ P33]
安全運転支援機能 (別体カメラ) *1*2	—	[⇒ P35]
パーキングモード *3	オン 常時+イベント	オン 常時 オン 常時+イベント オン モーション オン モーション+イベント オフ
パーキングモード感度 *3	標準	高い : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを高感度に設定します。 標準 : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを標準に設定します。 低い : パーキングモード中のイベント録画の 3G センサーを低感度に設定します。 カスタム (相互通信時のみ 1 ~ 10 で設定ができます)
日時	—	年 / 月 / 日 / 時 / 分 / 秒 (2065 年まで設定が可能)
撮影モード	—	撮影モードに切りかえます。
フォーマット	—	相互通信 [⇒ P37] / 単体 [⇒ P52]
本体カメラ正像 / 鏡像切り替え	正像	正像 鏡像

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

画像モード設定「カスタム」時、設定内容一覧

カスタム	初期設定	設定項目
画像	D1	FHD HD D1
画質	低	高 標準 低
明るさ	中	明 中 暗
コントラスト	中	高 中 低

3Gセンサー感度「カスタム」時、設定内容一覧

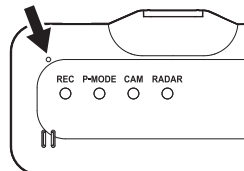
カスタム	初期設定	設定項目
前後	6	10 : 3G センサーを高感度に設定します。
		9
		8
		7
左右		6
		5
		4
		3
		2
上下		1
		オフ : 3G センサーを低感度に設定します。 : 3G センサーをオフに設定します。

その他の機能

システムリセット

本機が誤動作したり、止まってしまった場合、システムリセットをおこなってください。

リセット
ボタン



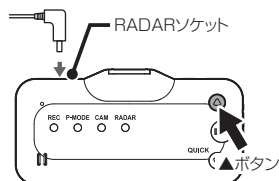
- 1 ピンなどを使用してリセットボタンを押す。
本機がリセットされ、再起動します。

強制初期化（強制フォーマット）

強制初期化をおこなうと、本体の設定値が工場出荷時にもどります。必要に応じて再設定をおこなってください。
[➡P38 ~ P40]

* microSDカード内の記録ファイルがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

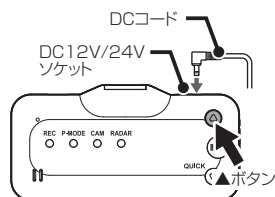
本機を相互通信使用時



- 1 セーフティレーダー相互通信コードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 ▲ボタンを押しながらセーフティレーダー相互通信コードのプラグを接続し、フォーマットアナウンスが出力されたら▲ボタンを離す。

microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

本機を単体で使用时



- 1 DCコードのプラグを抜き、電源をOFFにする。
- 2 ▲ボタンを押しながらDCコードのプラグを接続し、フォーマットアナウンスが出力されたら▲ボタンを離す。

microSDカードを強制的にフォーマットし、本機が初期化されます。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

ドライブレコーダー専用ビューアソフトについて

本機で録画した映像の記録データの確認や本機の設定をパソコンでおこなうことができます。

専用ビューアソフトと専用ビューア説明書は、弊社ホームページの製品ページからダウンロードします。

https://www.cellstar.co.jp/dlfm/download_viewer.php

専用ビューアソフトの動作環境

- CPU： Pentium 4 以上
- OS： Windows 8 / 10
- メモリ： 1GB 以上
- HDD： 4GB 以上
- GPU： Direct X 9.0c 以上に対応するGPU

専用ビューアソフトのインストール方法

- 1 viewer.zipをダウンロードして、圧縮解凍ソフトでファイルを解凍する。
- 2 viewerフォルダを開く。
- 3 フォルダ内の専用ビューア説明書を参照し、専用ビューアソフトをインストールする。
- 4 setup.exeを起動する。
インストールが開始されます。

専用ビューアソフトの使い方は、「専用ビューア説明書.pdf」をご覧ください。

本機を単体で使用

ドライブレコーダー 単体使用編

- * オプションのアクセサリプラグ用DCコードまたは直結配線DCコード、常時電源コードが必要になります。
- * 本機を単体で使用する場合、GPS機能を使えないため、必ず日時設定をおこなってください。【→P51】

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

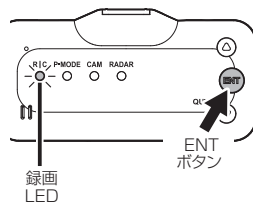
ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

モード切りかえ

各モードを切りかえるための機能です。

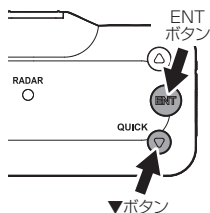


- 1 本機の常時録画中に**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
録画LEDが赤色点滅して効果音が鳴り、**▲▼ボタン**でモードを切りかえます。
* モードの状態をボイスアシストでお知らせします。
- 2 切りかえたいモードで**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
▲ボタンを長押しすると一つ前のメニューにもどります。
ENTボタンを長押しすると録画モードにもどります。
* 1分以上操作がない場合は、自動的に録画モードに切りかわります。

撮影モードについて

静止画で手動撮影するためのモードです。撮影した画像（JPGファイル）はmicroSDカードの[CAPTURE]フォルダ内の1（本体カメラ）と2（別体カメラ）に保存されます。

- * 別体カメラ接続時、前後のカメラで撮影します。
- * 撮影された静止画（JPGファイル）は、本機や専用ビューアソフトで表示できません。直接パソコンなどでmicroSDカードから参照してください。
- * microSDカード総容量の2%に保存可能です。最大容量を超えた場合、古いデータから順次自動消去されます。



- 1 設定モードにする。【→P44】
- 2 **▲▼ボタン**を押して【**撮影モード**】を選び、**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
- 3 **ENTボタン**を押す。（1秒以内）
RECランプが点滅し、効果音が鳴り、カメラの映像が静止画として保存されます。
- 4 撮影モードを終了する場合、**ENTボタン**を長押し（2秒以上）してモードを切りかえる。

共通：設定モードにする

- 1 **ENTボタン**を押して（1秒以内）モードを切りかえる。
- 2 **▲▼ボタン**を押して【**設定モード**】を選び、**ENTボタン**を押す。（1秒以内）
 - * 設定モード中は録画はできません。
 - * 外部モニターに接続時は、画面に設定メニューを表示し、本体ボタンで操作できます。【→P54】
 - * 安全運転支援機能、位置情報取得はセーフティレーダーとの相互通信時のみ設定可能です。



前の設定メニューに移動
（1秒以内）



決定（1秒以内）/
項目確定（2秒以上）



次の設定メニューに移動
（1秒以内）

画像モード設定（工場出荷時：高画質）

画像モード（録画画質）の設定をおこないます。
カスタムの設定は専用ビューアソフトでのみおこなえます。

画像モードを変更するとmicroSDカードメンテナンスフリー機能により、ファイルシステムを再構築するため、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

1 設定モードにする。【⇒P44】

2 ▲▼ボタンを押して【画像モード設定】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

画像モード	設定内容
高画質	FullHD の画質で録画します。
標準	HD の画質で録画します。
カスタム	個別の設定で録画します。【⇒ P40】

3 ▲▼ボタンを押して設定したい画像モードを選択する。

4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。

ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

5 フォーマットとアナウンスしたら、ENTボタンを長押し（10秒以上）してフォーマットを実行する。

* 録画データが消去されます。事前にバックアップすることをおすすめします。

6 フォーマット完了後、自動的に録画モードにもどる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）

録画映像補正の設定をおこないます。

* ナイトクリアは走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【カメラ設定】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

ノーマル	録画映像に補正をしません。
HDR	HDRによる画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。
ナイトクリア	夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。
HDR ナイトクリア 1	HDR とナイトクリア（弱）をおこないます。
HDR ナイトクリア 2	HDR とナイトクリア（中）をおこないます。
HDR ナイトクリア 3	HDR とナイトクリア（強）をおこないます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいカメラ設定を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

別体カメラ設定（工場出荷時：HDRナイトクリア1）

* 別体カメラ接続時のみ設定できます。

録画映像補正の設定をおこないます。

* ナイトクリアは走行状況によっては、白とびが発生する場合があります。ナイトクリアまたはHDRナイトクリア1～3で調整してください。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【別体カメラ設定】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

ノーマル	録画映像に補正をしません。
HDR	HDRによる画像合成技術により、急激な明るさの変化が発生しても白とびや黒つぶれを低減して録画します。
ナイトクリア	夜間、トンネル内など、少ない光量でも録画できます。
HDR ナイトクリア 1	HDR とナイトクリア（弱）をおこないます。
HDR ナイトクリア 2	HDR とナイトクリア（中）をおこないます。
HDR ナイトクリア 3	HDR とナイトクリア（強）をおこないます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいカメラ設定を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

別体カメラ表示（工場出荷時：オン）

* 別体カメラ接続時のみ設定できます。

別体カメラ映像の表示方法を設定します。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【別体カメラ表示】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押して別体カメラ表示のオン/オン優先/オフ/メインを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

録画モード（工場出荷時：常時＋イベント）

録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
 - 2 ▲▼ボタンを押して【録画モード】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- | | |
|---------|----------------|
| 常時 | 常時録画（1分単位）します。 |
| 常時＋イベント | 常時＋イベント録画します。 |
- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい録画モードを選択する。
 - 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

3Gセンサー感度（工場出荷時：標準）

衝撃を感知した際、イベント録画を開始する3Gセンサー感度の設定をおこないます。
カスタムの設定は専用ビューアソフトでのみおこなえます。

- 1 設定モードにする。【→P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【3Gセンサー感度】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

高い	3G センサーが高感度になります。
標準	3G センサーが標準になります。
低い	3G センサーが低感度になります。
カスタム	3G センサーをお好みで設定します。

* 相互通信時は1～10まで設定できます。

- 3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

音声録音（工場出荷時：オン）

本機のマイクで音声を録音し、録画映像に記録するか設定します。

- 1 設定モードにする。【→P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【音声録音】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押して音声録音のオン/オフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

インポーズ記録（工場出荷時：オン）

録画映像の画面に日時情報などを重ねて（インポーズ）記録するか設定します。【➡P51】

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【インポーズ記録】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押してインポーズ記録のオン/オフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

ボイス（工場出荷時：オン）

本機の動作をボイスアシスト（音声案内）するか設定します。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【ボイス】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押してボイスのオン/オフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

LED表示（工場出荷時：オン）

LED表示のオン/オフ/オールオフ設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。【→P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【LED表示】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押してLED表示のオン/オフ/オールオフを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

パーキングモード（工場出荷時：オン 常時+イベント）

* 常時電源コード接続時のみ設定できます。

パーキングモード中の録画モードの設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。【→P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【パーキングモード】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

オン 常時	常時録画（1分単位）します。
オン 常時+イベント	常時+イベント録画します。
オン モーション	モーション録画します。
オン モーション+イベント	モーション+イベント録画します。
オフ	パーキングモードをおこないません。
- 3 ▲▼ボタンを押して設定したいパーキングモードを選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

パーキングモード感度（工場出荷時：標準）

* 常時電源コード接続時のみ設定できます。

パーキングモード中に衝撃を感じた際、イベント録画を開始する3Gセンサー感度の設定をおこないます。

1 設定モードにする。【→P44】

2 ▲▼ボタンを押して【パーキングモード感度】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

高い	3G センサーが高感度になります。
標準	3G センサーが標準になります。
低い	3G センサーが低感度になります。

* 相互通信時は1～10まで設定できます。

3 ▲▼ボタンを押して設定したい3Gセンサー感度を選択する。

4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。

ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。

▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

日時（工場出荷時：未設定）

録画データに記録する日時情報の設定をおこないます。

microSDカード内の記録ファイルの日時より過去に設定すると、フォーマットが発生し、記録ファイルがすべて消去されます。
あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで記録ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。

1 設定モードにする。【→P44】

2 ▲▼ボタンを押して【日時】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）

3 年→月→日→時→分の順で設定をおこないます。

▲	プラス1
▼	マイナス1
ENT 長押し（2秒以上）	確定

* 2065年まで設定が可能です。

4 ENTボタンを長押し（2秒以上）して設定モードにもどる。

5 ENTボタンを長押し（2秒以上）して録画モードにもどる。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

フォーマット

microSDカードを初期化し、設定した録画画質によって microSDカードにセルスター独自のファイルシステムが適応されます。

- * microSDカード内の録画ファイルなどがすべて消去されます。あらかじめ、パソコンなどにファイルのコピーで録画ファイルのバックアップをおこなうことをおすすめします。
- * 本機でフォーマットしても本体の設定値は工場出荷時にもどりません。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【フォーマット】を選び、ENTボタンを長押しする。（10秒以上）
全LEDが赤色に点灯→消灯し、フォーマットが完了します。
- 3 フォーマット完了後、自動的に録画モードにもどる。

✓ アドバイス

録画モード中にENTボタンを長押し（10秒以上）するとフォーマット動作になります。

本体カメラ正像/鏡像切り替え（工場出荷時：正像）

本体カメラの正像/鏡像設定をおこないます。

- 1 設定モードにする。【➡P44】
- 2 ▲▼ボタンを押して【本体カメラ正像/鏡像切り替え】を選び、ENTボタンを押す。（1秒以内）
- 3 ▲▼ボタンを押して本体カメラの正像/鏡像を選択する。
- 4 ENTボタンを短押し（1秒以内）して設定を確定する。
ENTボタンを長押し（2秒以上）すると録画モードにもどります。
▲▼ボタンを長押し（2秒以上）すると設定モードにもどります。

パーキングモードについて

本機に適合したオプションの常時電源コードを使用するとタイマー機能、電圧監視機能により、最大12時間本機に電源を供給します。録画方式は常時録画（常時録画のカメラ画質設定）、常時録画+イベント録画から選択できます。

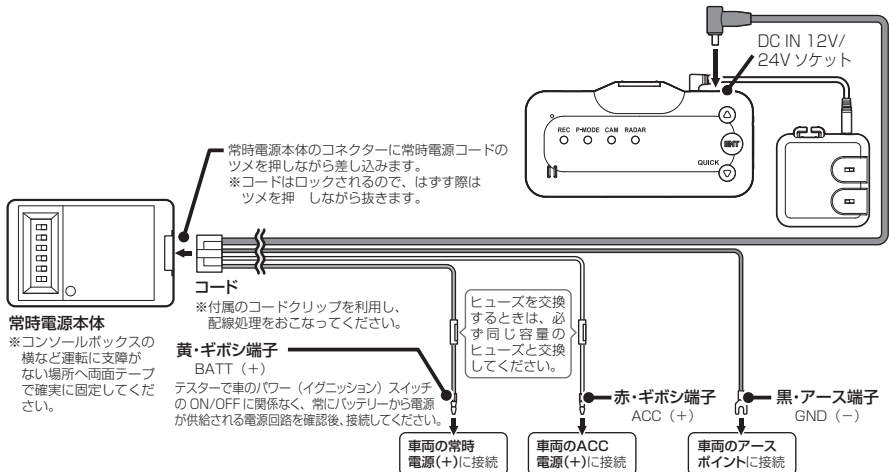
パーキングモードは、パワー（イグニッション）スイッチをオフにし、ACCがOFFになってから約6秒後に作動します。（LEDが遅く点滅します。）パワー（イグニッション）スイッチをオンにし、ACCがONになると、約6秒後にパーキングモードが解除され、常時録画になります。

* パーキングモード中は本機内部の日時設定を参照します。必ず、日時設定をおこなってください。【➡P51】

警告

- パーキングモードを設定する場合は、必ず本機に適合したオプションの常時電源コードを使用してください。直結配線DCコードなどを接続し、直接電源を供給できる状態では、パーキングモードを設定できません。
- パーキングモードによる車のバッテリーあがりに関して弊社は一切の責任を負いかねます。お客様自身にて、定期的なバッテリー点検をおすすめいたします。
- 暗い場所など録画できない場合があります。
- パーキングモードの設定を「オフ」にしても電源が供給されます。完全に電源の供給をオフにするには、常時電源コードの時間設定を「0時間」にしてください。
- パーキングモードは、周囲の状況により、正常に動作しない場合があります。
- 本機に適合した常時電源コード以外は使用できません。
- 車両がスリープモード時に電圧降下しない電源に配線してください。
- タイマー設定時間内であっても、バッテリーの電圧によっては電圧監視機能がはたらき、録画を停止します。

本機単体使用時の常時電源接続方法

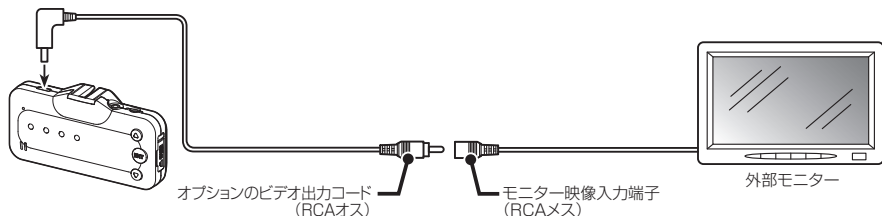


- オプションの常時電源コードに付属の取扱説明書をよく読み、正しく設定のうえ、ACCがOFFのときに接続してください。
- 本機がオプションの常時電源コードを認識できない場合やパーキングモード中、DCコードを抜いた場合、パワー（イグニッション）スイッチをOFFにし、動作LED消灯を確認後、パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。

外部モニター表示

オプションのビデオ出力コード（GDO-09）で本体と外部モニターを接続すると、カメラの映像を外部のモニターに表示できます。（映像のみ、音声は出力されません）

■ 外部モニターとの接続



- * 必ずオプションのビデオ出力コード（GDO-09）をご使用ください。他のコードを使用すると映像が正しく表示されない、または誤動作を起こす場合があります。
- * モニターの種類によっては端子の形状が異なる場合があります。
- * 電源ON時、一時画像が乱れることがありますが、異常動作ではありません。

外部モニターを接続すると、本機の設定メニューを表示できます。操作は本体のボタンでおこないます。

音量調整	
<	
✓	3
	2
	1
	0
▼	
▲▼:移動 / ▲▼長押:戻る / ENT:確定 / ENT長押:録画モード	



上に移動（1秒以内） / もどる（2秒以上）



決定（1秒以内） / 録画モードにもどる（2秒以上）
* 日時設定のみ確定となる。



下に移動（1秒以内） / もどる（2秒以上）

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。
また、弊社ホームページのよくあるご質問（FAQ）を参照してください。
<https://faq.cellstar.co.jp/>



症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	・セーフティレーダーのDCコードは、アクセサリソケットに接続されていますか。 ・本機と相互通信対応セーフティレーダーはセーフティレーダー相互通信コードで接続されていますか。 ・本機は付属のセーフティレーダー相互通信コードを使用してください。	P19
	・アクセサリソケットにゴミや汚れが付着していませんか。付着している場合は、ゴミや汚れなどをきれいに拭きとってください。	—
SD カードを認識しない	・microSDカードは正しく挿入されていますか。 ＊ microSD カードを挿入していないと録画が開始されません。	P20
起動時間が長い	・microSDカードの容量によっては起動時間が長くなることがあります。	P6
録画が開始されない	・microSDカードは正しく挿入されていますか。 ＊ microSD カードに異常がある場合もエラーとなり録画が開始されません。その場合は、microSD カードを取り換えてご使用ください。その際は指定の microSD カードをご使用ください。	P6 P20、P21
	・microSDカード内の記録ファイルが破損した可能性があります。 ＊ microSD カードをフォーマットしてください。	P37、P52
急ブレーキや急加速のときでも、データが保護されない。またはすぐに反応してしまう	・「3Gセンサー感度」を調整してください。 ＊使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P48
ひんばんにイベント録画されるまたは録画されない	・「3Gセンサー感度」を調整してください。 ＊使用状況にあわせて、この設定を調整することをおすすめします。	P48
再起動する	・本機に異常があった場合、連続動作するために自動的に再起動し復帰しますが、異常動作ではありません。	—
録画したデータと実際の走行状況が違う	・セーフティレーダーとの相互通信時（OBDⅡ未接続）は、車両の走行速度、位置情報をGPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。	—
パーキングモードを設定できない	・本機が常時電源コードを認識していません。パワー（イグニッション）スイッチを入れなおしてください。	—
設定中に、フォーマット動作になった	・画像モード設定の変更をされていませんか。変更した場合、microSDカードメンテナンスフリー機能を使用するため、フォーマットが発生し、記録ファイルが消去されます。バックアップされていない場合、DCプラグまたは相互通信コードを抜いて電源がOFFになっていることを確認し、microSDカードを抜きパソコンなどにファイルのコピーでバックアップをおこなうことをおすすめします。	P21
設定が初期値にもどる	・本機以外でフォーマットをおこなっていませんか。 ・新しいmicroSDカードに交換していませんか。 ＊ microSD カード内に本機の設定ファイルが無いため設定が初期値にもどります。再設定をおこなってください。	P20

はじめに

取り付けと準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

製品の仕様

■CA-D01Dの仕様

本体カメラ	撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 119°、垂直 62°、対角 147°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画素 (HD) / 35 万画素 (D1)
別体カメラ	撮像素子	200 万画素 カラー CMOS センサー
	フレームレート	30fps
	視野角	水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	F 値	2
	最低被写体照度	3LUX
	録画画素数	200 万画素 (FullHD) / 100 万画素 (HD) / 35 万画素 (D1)
録画画質	FullHD	高画質 (10Mbps) / 標準 (8Mbps) / 低画質 (6Mbps)
	HD	高画質 (6Mbps) / 標準 (4.5Mbps) / 低画質 (3Mbps)
	D1	高画質 (3Mbps) / 標準 (2Mbps) / 低画質 (1Mbps)
録画画角	FullHD	水平 117°、垂直 62°、対角 141° * 別体カメラは、水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	HD	水平 117°、垂直 62°、対角 141° * 別体カメラは、水平 114°、垂直 61°、対角 141°
	D1	水平 94°、垂直 62°、対角 115° * 別体カメラは、水平 93°、垂直 61°、対角 112°
録画圧縮		録画 AVI (H.264)、静止画 JPEG
録画トリガ		常時録画 / 常時録画 + イベント録画 / クイック録画 (常時録画 / モーション録画 / 常時録画 + イベント録画 / モーション録画 + イベント録画 ※ / パーキングモード時)
GPS		無し
HDR		有り
3G センサー		有り (衝撃感度 10 段階)
対応外部記憶媒体		microSD カード 8GB ~ 32GB (クラス 10/SDHC 規格準拠)、 64GB (クラス 10/SDXC 規格準拠)、その他、スピードクラスとして下記以上を推奨 SD スピード Class : Class10 UHS スピードクラス : U1 以上 Video スピードクラス : V30 以上 * 弊社オプション microSD カード推奨
記録データ		日時、加速度、走行速度*、位置情報*、映像ファイル * セーフティリーダー接続時のみ
音声録音		有り (オン、オフ設定可)
外部映像出力		有り
インターネット地図連動		有り * セーフティリーダー接続時のみ
電源電圧		DC12V/24V * 相互通信接続時 DC12V のみ
動作温度範囲		-10℃ ~ +60℃
本体サイズ		86 (W) × 23 (D) × 40 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 69 (H) mm
本体重量		64g
別体カメラサイズ		34.5 (W) × 16 (D) × 34.5 (H) mm (突起部含まず) * マウントベース取り付け時 59 (H) mm
別体カメラ重量		19g
カメラ接続コード		9.0m (片側ストレートプラグ)
保証期間		3 年

* 「ドライブレコーダー協議会ガイドライン」に基づく表記。

* 録画の条件により、録画のフレームレートやビットレートが変わる場合があります。

■撮影可能時間の目安 * 別体カメラ接続時

常時録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 24 分	約 30 分	約 36 分
	HD	約 41 分	約 60 分	約 90 分
	D1	約 100 分	約 136 分	約 211 分
16GB	FullHD	約 49 分	約 60 分	約 72 分
	HD	約 83 分	約 120 分	約 181 分
	D1	約 201 分	約 272 分	約 422 分
32GB	FullHD	約 98 分	約 120 分	約 144 分
	HD	約 166 分	約 240 分	約 362 分
	D1	約 402 分	約 544 分	約 844 分
64GB	FullHD	約 196 分	約 240 分	約 288 分
	HD	約 332 分	約 480 分	約 724 分
	D1	約 804 分	約 1088 分	約 1688 分

イベント録画時間 [min] / microSD カードの容量		録画品質		
		高画質	標準	低画質
8GB	FullHD	約 7 分	約 8 分	約 10 分
	HD	約 11 分	約 16 分	約 24 分
	D1	約 24 分	約 31 分	約 35 分
16GB	FullHD	約 13 分	約 16 分	約 19 分
	HD	約 22 分	約 33 分	約 48 分
	D1	約 48 分	約 63 分	約 79 分
32GB	FullHD	約 27 分	約 33 分	約 39 分
	HD	約 44 分	約 66 分	約 97 分
	D1	約 97 分	約 126 分	約 154 分
64GB	FullHD	約 53 分	約 65 分	約 83 分
	HD	約 88 分	約 132 分	約 193 分
	D1	約 193 分	約 252 分	約 304 分

パーキングモード / microSD カードの容量	最大録画時間
8GB	約 216 分
16GB	約 433 分
32GB	約 867 分
64GB	約 1734 分

* 撮影の状況、被写体などにより記録されるファイルサイズは一定でないため、記録可能時間に差が生じる場合があります。上記は、あくまでも目安となります。

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

■パーキングモードの録画時間について

- パーキングモード中の常時録画とモーション録画

画像モード設定によって1ファイルに記録される録画時間が変動します。【→P45】

モーション録画が発生した場合、常時録画を1ファイル記録します。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	540 秒
	標準	450 秒
	低	370 秒
HD	高	320 秒
	標準	220 秒
	低	150 秒
D1	高	120 秒
	標準	90 秒
	低	60 秒

- パーキングモード中のイベント録画

イベント録画が発生した場合、画像モード設定共通で1ファイルに25秒（前5秒、後20秒）記録されます。

画像モード設定	画質	1 ファイルの録画時間
Full HD	高	25 秒
	標準	
	低	
HD	高	
	標準	
	低	
D1	高	
	標準	
	低	

* モーション録画は、1ファイルの常時録画された動画を保存します。

microSDカードのデータについて

- イベント録画フォルダ（EVENT）
イベントが発生した動画または、クイック録画機能で録画した動画を保存します。
（microSDカード全体容量の20%を使用）
- 常時録画フォルダ（INFINITE）
常時録画された1分間の動画*または、パーキングモードのモーション録画で録画された動画を保存します。
（microSDカード全体容量の73%を使用）
- * パーキングモード時は、画像モード設定により録画時間が変動します。
- 撮影フォルダ（CAPTURE）
キャプチャーした画像を保存します。（microSDカード全体容量の2%を使用）

はじめに

取り付けと
準備

基本操作

相互通信
使用編

各種設定

ドライブレコーダー
単体使用編

困ったときは

その他

お客様相談窓口

■電話でのお問い合わせ

<個人のお客様> カスタマーサービス

[受付時間] 9:00~18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

 **0570-006867** (ナビダイヤル)

☎0120-75-6867 (フリーダイヤル)

携帯電話・PHS・IP電話などフリーダイヤルが

ご利用にならない場合：0570-006867

<法人のお客様> セルスター工業株式会社 本社 (代)

[受付時間] 9:00~18:00(土・日・祝日および、弊社休業日を除く)

TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■メールでのお問い合わせ

弊社ホームページのよくあるご質問
(FAQ)より質問を送信してください。

<https://faq.cellstar.co.jp/>



セルスター工業 拠点一覧

■北海道地区

札幌営業所

〒004-0842 北海道札幌市清田区清田二条3-2-1
TEL.011-882-1225 (代) / FAX.011-881-7251

■東北地区

仙台営業所

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字原田158
TEL.022-218-1100 (代) / FAX.022-218-1110

■北関東・新潟地区

水戸営業所

〒310-0903 茨城県水戸市堀町795-2
TEL.029-254-6911 (代) / FAX.029-255-1420

■関東地区

本社

〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-29
TEL.046-273-1100 (代) / FAX.046-273-1106

■東海・北陸地区

名古屋営業所

〒453-0021 愛知県名古屋市中村区松原町5-7-1
TEL.052-307-5733 (代) / FAX.052-307-5737

■関西・中国・四国地区

大阪支店

〒562-0004 大阪府箕面市牧落3-8-7
TEL.072-722-1880 (代) / FAX.072-722-5575

■九州・沖縄地区

福岡営業所

〒811-1314 福岡県福岡市南区の場二丁目15番16号
TEL.092-588-1101 (代) / FAX.092-588-0057

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

[全国自動車用品工業会会員] [一般社団法人ドライブレコーダー協議会会員]
[一般社団法人日本自動車部品工業会会員] [東京都自動車部品組合会員]

<https://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社